

## 2023年度 研究センター事業報告書

研究センター名	加藤周一現代思想研究センター
---------	----------------

## I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

## ① 加藤周一文庫所蔵資料のデジタル・アーカイブ化

2023年度も、以下の加藤周一文庫所蔵資料をデジタル・アーカイブ化した。

デジタル化ノート: 「Modern Jap. History (1900-1945)」 「Sociology Modern Jap. History(1945-)」 「Lit. Japonaise (Theorie)」 「主観主義」「死」「Oriental Arts (Japanese I)」 「Oriental Arts (Japanese II)」 : 公開時期:2024年3月

## ② 2023年度『加藤周一現代思想研究センター報告』創刊号の刊行

2023年3月の「創刊準備号」に引き続き、同年12月に「創刊号」を刊行した。さらに『加藤周一現代思想研究センター報告』第2号の準備を始めた。

## ③ 2023年度「グラスルーツ支援制度」での活動

2023年度「グラスルーツ支援制度」の支援を受け（「加藤周一学の確立をめざして——教職員・院生学生・市民による共同研究——」代表:加國尚志）、『書こう！加藤論』の刊行（2024年3月22日）、「見た、聴いた、読んだ！加藤ワールド・ツアー」などの企画を実施した。前者は一般から募った加藤論を論集として刊行するもので、総勢26名の市民・院生の投稿があり、中国の大学院生も応募した。加藤周一研究に一般市民を巻き込む効果があった。また後者は、「加藤所縁の江戸路ツアー」と題して、加藤周一にゆかりのある渋谷・上野毛・田園調布の各所を市民と見て回るものであった（2024年3月9日実施、参加者3名）。

## ④ クラウド・ファンディングの実施

講談社ブルーバックスのプラットフォームを利用し、「加藤周一「書簡・写真」のデータベースを構築しよう—そこから加藤の交友関係が見える」と題してクラウド・ファンディングを実施し、85名のサポーターから総額1827000円の寄付を得た。

## ⑤ 外部資金の獲得

半田侑子研究員が、三島海雲記念財団主催「2023年度学術活動支援」（採択:2023年1月18日:助成学術活動名称:「中国における加藤周一『雑種文化』の受容シンポジウム」助成金額:50万円）に採択された。

半田侑子研究員が科研費基盤研究(C)（研究課題名:「書簡から読み解くマチネ・ポエティック—中村真一郎・福永武彦・加藤周一の詩と思想」:交付予定額:350万円:期間:24年度～26年度の3年間）に採択された。

## ⑥ 公開講演会の実施

第7回加藤周一記念講演会として講師に池辺晋一郎氏をお迎えし、「政治とは日々の生活」と題してご講演いただいた（2023年10月7日 14:00より 衣笠キャンパス以学館1号ホール）。

## ⑦ 公開講読会の実施

2019年より実施している『羊の歌』公開講読会を2023年度も実施し、計11回の講読会を開催した（於:平井嘉一郎記念図書館カンファレンス・ルーム）。通算で4年を超え40回に達する長寿の企画となった。

## II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2024年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
センター長	加國 尚志	文学部	教授	
運営委員	小関 素明	文学部	教授	
	岡本 雅史	文学部	教授	
	北村 順生	映像科学部	准教授	
	福間 良明	産業社会学部	教授	
	鷺巣 力	衣笠総合研究機構	研究顧問	
	西岡 亜紀	文学部	教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	中川 成美	文学部	特任教授	
	根津 朝彦	産業社会学部	准教授	
	住田 翔子	産業社会学部	准教授	
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員	半田 侑子	衣笠総合研究機構 研究員	
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	大学院生	西澤 忠志	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
		福井 優	文学研究科	博士課程後期課程
		蛭子 良風	文学研究科	博士課程後期課程
		落合 優翼	文学研究科	博士課程後期課程
		齋藤 由紀	文学研究科	博士課程前期課程
		苧野 美雪	文学研究科	博士課程前期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
	その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)			
	客員協力研究員	彭 佳紅	帝塚山学院大学	教授
ジュリー・ブロック		京都工芸繊維大学	名誉教授	
桜井 均		映像ジャーナリスト		
川口 雄一		成蹊大学・創価大学	非常勤講師	
龍澤 武		東アジア出版人会議	理事	
樋口 陽一		東京大学	名誉教授	
三浦 信孝		中央大学	名誉教授	

	石塚 純一	札幌大学	名誉教授
	宮村 治雄	成蹊大学アジア太平洋研究センター	客員研究員
	片岡 大右	慶應義塾大学	非常勤講師
	落合 勝人	株式会社集英社	新書編集部編集長
	李 成市	在日韓人歴史資料館	館長
	山口 智也	NHK 制作局	チーフ・ディレクター
	金子 元	秀明大学	非常勤講師
	山辺 春彦	東京女子大学	講師
	孫 歌	中国社会科学院文学研究所	研究員
	王 中忱	清華大学	教授
	林 慶澤	韓国国立全北大学校	教授
	翁 家慧	中国北京大学	副教授
	岩津 航	金沢大学	教授
	劉 争	関西国際大学	専任講師
	平石 知久	(公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	研究員
	石 運	重慶大学	講師
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)			
センター構成員	計 40 名	(うち学内の若手研究者 計 7名)	

### Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2024年3月31日時点)

1. 著書								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数	
1	鷲巣力	増補改訂 加藤周一を読む：「理」の人にして「情」の人	単著	2023 年	平凡社		総 448 ページ	
2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	岡本雅史	語りに伴う睥睨の奥にあるもの—オラリティとしての加藤周一の思想を求めて	単著	2023 年 12 月	加藤周一現代思想研究センター報告		pp. 83-91	無
2	加國尚志	鷲田清一とメルロ・ポンティ—「スタイル」の現象学	単著	2023 年 4 月	現代思想 51 巻 5 号 総特集 鷲田清一		pp. 250-263	無
3	Kakuni Takashi	Lecture de l'Esthétique de Hegel par Merleau-Ponty	単著	2024 年 3 月	Chiasmi international 25		pp. 143-152	無

4	半田侑子	大江健三郎とそのミクロコスム	単著	2023年	ユリイカ 55巻10号		pp. 530-540	無
5	半田侑子	近代日本知識人の「母」——加藤周一の母・ヲリ子と「無限の愛情の中心」	単著	2023年12月	加藤周一現代思想研究センター報告 創刊号		pp. 113-146	無
6	半田侑子	「日本文化の雑種性」から捉え直すマチネ・ポエティックと加藤周一	単著	2024年1月	『立命館大学人文科学研究所紀要』 137号		pp. 175-205	有
7	小関素明	「戦争体験」の思想化の苦闘—「絶望」を原点にした精神の寄留地の構築—	単著	2024年1月	『立命館大学人文科学研究所紀要』 137号		pp. 207-243	有
8	小関素明	災害と人文社会科学が向き合うべき課題—災害は民主政治にどのような影響を及ぼすのか—	単著	2024年3月	『立命館大学人文科学研究所紀要』 138号		pp. 25-42	有
9	小関素明	大学における教養教育の課題についての経験的考察—歴史学からの模索—	単著	2024年3月	教養教育研究会編『現代社会を拓く教養知の探求』 晃洋書房		pp. 62-80	無

### 3. 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	鷺巣力	加藤周一と日本文学—『日本文学史序説』への道	2023年9月	清華大学創作・研究センター及び中国言語文学部 北京大学外国語学院日本語学部(招待講演)	
2	鷺巣力	加藤周一と日本文化—「雑種文化論」への道	2023年9月	清華大学創作・研究センター及び中国言語文学部 北京大学外国語学院日本語学部(招待講演)	
3	小関素明	書評: 小路田泰直著『講座: わたしたちの総合歴史 6 日本史の政治哲学—非西洋的民主主義の源流—』かもがわ出版、2023年	2023年6月	近代日本思想史研究会、立命館大学(京都衣笠キャンパス)	斎藤恵美
4	小関素明	今回の能登半島地震の何を、どう問題にすべきなのか	2024年3月	2024年能登半島地震と戦後日本の地域開発研究会、立命館大学(京都 衣笠キャンパス)	

### 4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	加藤周一記念講演会	衣笠キャンパス	2023年10月	100名	
2					

### 5. その他研究活動(報道発表や講演会等)

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
なし				

### 6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
なし					

